

友の会だより

No.72

2024.1

茨城県陶芸美術館友の会

展覧会
案内

セキショウコレクション グラスアート・ライジング 藤田喬平、リトルトン、リベンスキーと世界の作家

会 期：令和6年1月2日(火)～令和6年4月7日(日)

主 催：茨城県陶芸美術館

特別協力・協賛：関彰商事株式会社

後 援：笠間市、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、NHK水戸放送局、産経新聞社水戸支局、東京新聞水戸支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局

休 館 日：毎週月曜日(ただし、1月8日(月・祝)、2月12日(月・振)は開館)、1月9日(火)、2月13日(火)

1960年代以降、それまでは工業的な素材と認識されていたガラスを使って芸術作品をつくる動きが興り、アメリカや旧チェコスロヴァキアをはじめとする世界各国の作家によって、多様な表現が生み出されました。ガラスの造形表現の黎明期とされるこの時代の世界と日本の作品を「グラスアート・ライジング」と題して紹介します。



▲ハーヴェイ・K・リトルトン
ブルー・スプレー 1988



▲スタニスラフ・リベ
ンスキー&ヤロスラ
ヴァ・プリフトヴァ
ヘッド・クイーン
1989



▲パヴェル・フラヴァ
レインボー
(ネイチャーシリーズ)
1989



▲藤田 喬平
飾篋「竹取物語」1989

● 展覧会関連催事のご案内

*詳細は、チラシや当館ウェブサイト等をご覧ください。お問い合わせください。

● 高橋禎彦×金子賢治クロストーク (予約優先/定員90名)

内 容：高橋禎彦氏(ガラス作家)と金子賢治(当館館長)の対話から
グラスアートの実態に迫ります。

日 時：2月11日(日・祝) 13時30分から15時まで

場 所：当館1階多目的ホール

参加費：無料(要企画展観覧料)

● ガラスにちなんだ読み聞かせの会 (予約不要/定員30名)

内 容：美術館スタッフによる大人も子どもも楽しめる読み聞かせの会

日 時：2月3日(土) 13時30分から30分程度

場 所：当館地下1階研修室

参加費：無料(要企画展観覧料)

● ワークショップ「ガラスのドリームボックスをつくらう！」

(要予約/抽選)

内 容：ガラスの箱や小瓶に絵付けをして焼き付け、カラフルな作品を
つくりまます。

日 時：2月23日(金・祝) 午前の回10時から、午後の回14時から

場 所：当館地下1階研修室

参加費：無料(要企画展観覧料)

● ギャラリートーク (予約不要)

内 容：担当学芸員が展覧会をご案内します。

日 時：3月9日(土) 13時30分から14時15分まで

場 所：当館地下1階企画展示室

参加費：無料(要企画展観覧料)

● つくば美術館土曜講座

「グラスアートの兆し—20世紀後半、ガラス表現の展開—」

講 師：名村実和子(茨城県陶芸美術館副主任学芸員)

日 時：2月10日(土) 13時30分から15時まで

会 場：茨城県つくば美術館2階アルスホール

*詳しくは茨城県つくば美術館へお問い合わせください。

● 同時開催

「セキショウコレクション 駒井哲郎と中村直人展」

日本やフランスを拠点に昭和を通して活躍した二人の作家、駒井哲
郎の銅版画と中村直人の絵画作品を紹介いたします。

会 場：当館2階第2展示室

ランプシェードの灯に魅了されて

中村 富夫さん

師走なのに小春日和を思わせるこの日、笠間市内、潤沼川に近い静かな地に建つ中村富夫さんの陶房を訪ねました。薪ストーブを囲んで、和やかな雰囲気でのインタビューになりました。



ご出身はどちらですか？

東京都です。下町の電気店に生まれました。

陶芸の道に進まれた経緯についてお聞かせください

電気関係のメーカーに就職をしましたが、「この仕事は自分のやりたい事ではなかったのではないかな？」との疑問が生まれ、退社しました。その後、生きがいを求めて日本各地を転々と歩き歩きましたが、そのうちに大学へ進学しようかと考えるようになり、まだ学生運動の名残のあるころ、障害児の教育者を目指して大学に入学しました。専攻は美術です。卒業後は、東京都で教職に就き、小学校の図工科専科教員として勤務して

いましたが、やがて自分の思い描く理想とのギャップを感じ、退職しました。大学在学中に授業で陶芸と出会い、その講師を務めていた先生に師事していたことや家族の後押しもあり、陶芸の道に入りました。講師の先生は板谷波山さんのお弟子さんの息子さんということで、当時は波山の影響を受けた作品を作っていました。

作品づくりについてお聞かせください

商品として扱うことが難しかった「辰砂釉」を笠間で唯一扱っていた陶器屋さんが声をかけてくれて、陶芸家としての生活がスタートしました。しかし、笠間の土では難しく、やがて「炭化焼成」「焼き締め」に移り変わっていきました。近頃では各地の陶土をブレンドして使っています。展示会用に女性の体をモチーフにした柔らかなラインの花器を作っていますが、依頼を受けて抹茶碗などの食器類や蚊取り線香入れなど何でも作ります。短時間で米が炊ける土鍋なども作りました。医療や福祉関係者方との研究会の会長として、障害のある方や高齢者でも使用目的に応じて扱いやすいような器を、土や釉薬、形などの工夫を加えることにより開発しています。今の時勢で、材料が手に入りにくくなってきていて、作品づくりに影響が出てきています。



今後どんなことをやりたいですか

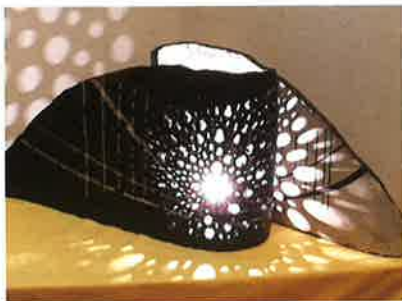
今後の方向性は、模索中です。食器類をイベントに出品することで、生活はできるようになってきたので、前々から取り組んでいるランプシェード作りなど、そろそろ大好きなオブジェ作りに注力していきたいと考えています。宇宙を感じさせるように、光を操れたらうれしいです。使い手の扱い方によっても、様子が違ってきますからとても面白いです。

プロフィール

土肥 満氏に師事
東京都に図工科教師として勤務
教職退職後、笠間に築窯
個展多数

対談を終えて

幅広く、豊かな人生を歩んでこられた中村さんが、これからどのように光を操っていかれるのだろうか。そんな想いを巡らせると、心が躍ってきます。どのような作品に出会えるのか楽しみにして、インタビューを終えました。



● 呈茶会

今年度の呈茶会は、11月13日(月・茨城県民の日)に茨城県陶芸美術館地下1階オープンギャラリーを会場として、10時30分から合計5席行われました。オープンギャラリーに展示されている、井上雅之氏の作品を前にして立礼式にて行われました。永地宗栄氏(裏千家)社中によるお点前と、この日のために考案された限定菓子(かさまの栗使用)に参加されたみなさまは大変満足されたようです。



● 研修旅行(国内)

今年度の研修旅行は、12月1日(金)～3日(日)の2泊3日の日程で、長崎や佐賀を訪問しました。長崎では大浦天主堂や原爆資料館、グラバー亭などの市内観光と波佐見焼の里や三川内焼の美術館を訪ねました。佐賀では、唐津焼の窯元、中里太郎右衛門窯を訪ね、貴重なお話を伺うことができました。陶芸に関する研修と親睦を深めることができた旅でした。



● 会員へのプレゼント

令和3年度からの継続事業です。まだ受け取られていない方は来館時にお申し出ください。なお、本事業は本年度末で終了いたします。令和6年3月末日までにお受け取り下さい。

友の会では各種事業を実施するに当たって、各種委員さんがそれぞれに役割を分担しています。今回、友の会だよりを編集する編集委員さんを募集します。掲載内容を検討したり、作家さんとの対談をしたりします。関心のある方は、ぜひ事務局まで連絡をお願いします。

◆ 令和6年度友の会会費の納入について

令和6年度友の会会費の納入をお願いします。ただし、これまでご利用いただいていた『振込依頼書』を使用しての納入は、取扱銀行様の都合により、令和5年6月末日をもってサービス終了しております。そのため、令和6年度以降の会費納入は「現金」・「友の会口座へ直接振込」・「銀行口座振替」(手続きが必要)のいずれかとなります。ご理解の上、ご協力よろしくお願い致します。(詳細は別紙参照)



良い品をそろえてご来店をお待ちしています

友の会特約店のご紹介

アトリエ・フラスカ	0296-72-9322	向山窯	0296-72-0194
笠間工芸の丘	0296-70-1313	丹野陶房	0296-72-4028
笠間みんげい	0296-72-9280	陶芸館	0296-72-6650
かつら陶芸	0296-72-6688	東風舎	0296-72-5205
ギャラリー桜	0296-72-0803	無限堂	0296-72-1695
ギャラリー舞台	0296-73-0700	やまさき陶苑	0296-72-6865
		涼	0296-72-0712
		ミュージアムショップ (館内)	0296-72-7105
		レストラン「風の丘」(館内)	0296-72-0197
笠間焼窯元共販センター	0296-72-5665		
きらら館	0296-72-3109		

● 5月11日(土)～5月26日(日)

森恭展 ポルト・ボヌールⅡ王は踊る

● 1月30日(火)～2月12日(月・振)

栗原節夫・高橋勝宏 2人展

● 2月14日(水)～2月25日(日) 川田達哉・敦子 2人展

● 3月1日(金)～3月17日(日) 大島穂 作陶展

● 3月19日(火)～3月31日(日)

火音陶房 松下昇二・知子 2人展

● 4月13日(土)～4月21日(日)

伊藤みほ・松井香織 2人展

● 4月23日(火)～5月6日(月・振) 岩元鐘平 作陶展

● 5月8日(水)～5月19日(日) 内藤加奈子 グループ展

● 5月21日(火)～6月2日(日) 中村明美 作陶展

● 6月4日(火)～6月16日(日) 安藤喜代子 作陶

● 6月18日(火)～6月30日(日) 西村俊彦 作陶展

各店舗で買物をされる際、会員証を提示していただくと、陶器が10%割引となります。(一部除外品があります。) 笠間工芸の丘は体験のみ対象です。レストラン「風の丘」は飲み物サービスとなります。

友の会からのお知らせ

会員募集

茨城県陶芸美術館友の会では、会員を随時募集しています。陶芸が好き、陶芸についてもっと知りたい、体験をしたい・・・そんなあなたの期待に応えます。

一般会員：年会費3,000円
家族会員(※同居家族2人に限る) 年会費(2人で)：5,000円

- 特典1** 常設展が、何度でも無料で観覧できます。
- 特典2** 企画展が年2回まで無料で観覧できます。
- 特典3** 会報の無料配付(年3回)を受けられます。
- 特典4** 特約店において、陶磁器等の購入で割引が受けられます。
- 特典5** 友の会主催の各種事業に参加できます。

お問合せは茨城県陶芸美術館友の会事務局までお願いします。
茨城県陶芸美術館友の会事務局(茨城県陶芸美術館内)
電話 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012

編集後記

地球温暖化の影響でしょうか、天候不順が気になる1年間でした。生き物たちにも影響が出ているようです。また、不穏な国際情勢により、残念なニュースが多かったように感じます。一日も早く穏やかな世の中に戻って欲しいと願っています。今年がみなさまにとって良い年でありますように。

友の会だより No.72

発行：令和6年2月1日
編集・発行：茨城県陶芸美術館友の会
〒309-1611 笠間市笠間2345(茨城県陶芸美術館内)
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012
編集委員：小栗 和子 鈴木 充